



第33回鷹栖中学校体育大会

議会だより

孔雀草

(町花「マリーゴールド」の和名)

題字 宮島歩美

- P 2～ 第4回臨時会
- P 3～ 第2回定例会
- P 4～ 一般質問(5名)
- P 9 全道町村議会議員研修会/
町内所管事務調査/議会のうごき
- P 10 わたしの一言/くじゃくそうクイズ

第4回臨時会

任期満了による町議会議員選挙後初の議会が5月7日に開催され、議長・副議長の選挙、常任委員会ならびに議会運営委員会委員の選任が行われたほか、以下のとおり議会構成を決定しました。

議長 新田 健一
副議長 植西 辰義

総務文教常任委員長 坂根 玲子
経済福祉常任委員長 木下 忠行
議会広報広聴常任委員長 大石 隆
議会運営委員会委員長 中村 公憲

正副議長は議員の投票による選挙で当選



◎委員長
○副委員長

議会運営委員会	◎中村 公憲 ○木下 忠行 植西 辰義 坂根 玲子 大石 隆
農業委員会委員	辻本 篤
監査委員	中村 公憲



総務文教常任委員会

(上段) 植西辰義 青野 敏 舟根輝好
(下段) ○大石 隆 ◎坂根玲子



経済福祉常任委員会

(上段) 片山兵衛 中家 彰 日下義朗
(下段) ○辻本 篤 ◎木下忠行 中村公憲

非常勤特別職名簿

鷹栖町社会教育委員兼公民館運営審議会委員
舟根 輝好

鷹栖町都市計画審議会委員
大石 隆 日下 義朗

鷹栖町国民健康保険運営協議会委員
片山 兵衛

鷹栖町土地開発公社役員 (●理事 ○監事)
●木下 忠行 ●坂根 玲子 ○中村 公憲

鷹栖町民生委員推薦会委員
辻本 篤

北野地区換地委員会委員
木下 忠行



議会広報広聴常任委員会 (新設)

(上段) 木下 忠行 舟根 輝好 中家 彰
(下段) 坂根 玲子 ◎大石 隆 ○片山 兵衛

第2回定例会

平成27年6月11日～12日

第2回定例会は、6月11日から2日間の会期をもって開催しました。

5名の議員が一般質問を行い、町長の考えをただしました(4～8ページ)。

議事は、報告、条例改正及び一般会計・介護保険特別会計の補正予算などを審議し、原案のとおり可決し、会期どおり12日で閉会しました。



補正予算

平成27年度の予算が次のようになりました。

●議会の研修に要する費用を増額します。

●本年度のふるさと納税への記念品に要する費用を増額します。

●ふるさと納税による寄付金を基金に積立てます。またサイモンズカードの寄付金により図書を購入します。

●町振興補助金を増額し、町内会館の改修などに助成します。

●北野バス待合所の暖房用ボイラーを修理します。

●低所得者や子育て世帯へ臨時的に給付金を給付します。

●農業用機械購入に対し補助金を交付します。

	補正額	補正前の額	補正後の額
一般会計	7662万5000円	54億6130万円	55億3792万5000円
内訳	議会費	13万2000円	議員研修事業ほか
	総務費	4529万9000円	ふるさと鷹栖活動推進事業ほか
	民生費	1450万2000円	臨時福祉給付金給付事業ほか
	農林費	728万9000円	生産基盤整備事業
	土木費	848万1000円	公共下水道会計繰出事業
	消防費	75万3000円	消防広域化委託事業
	教育費	16万9000円	総合体育館管理事業
国民健康保険	△196万5000円	10億2072万3000円	10億1875万8000円
介護保険	1728万円	7億7518万6000円	7億9246万6000円
公共下水道	848万1000円	2億1125万1000円	2億1973万2000円

- 人事異動に伴い一人分の人件費相当額を公共下水道事業特別会計へ繰出します。
- 消防広域化委託料に平成26年度決算による不足分を追加します。
- 総合体育館の暖房機の不具合を調査します。



報告

■平成26年度土地開発公社事業及び収支決算並びに平成27年度事業計画及び予算

■自動車事故による和解及び損害賠償額の決定に係る専決処分

■平成26年度一般会計繰越明許費繰越計算書

平成26年度に予算措置した一般会計のうち、次年度に繰り越した「公共施設トイレ改修事業」他15件(8216万円)の報告を受けました。

■平成26年度鷹栖町公共下水道事業特別会計繰越明許費繰越計算書

平成26年度に予算措置した公共下水道事業特別会計のうち、次年度に繰り越した「下水道整備事業(5000万円)」の報告を受けました。



条例

■鷹栖町条例等の一部改正

■鷹栖町都市計画条例の一部改正

文言の整理です。

■鷹栖町国民健康保険条例の一部改正

保険税の課税限度額を引き上げるとともに、軽減判定基準を引き上げ、軽減対象世帯を拡大するものです。



契約

■財務会計システム購入

【金額】831万6千円

【相手方】

(株)北海道日立システムズ



その他

■人権擁護委員の推薦

紺野 弘克さん

(北1条2丁目2番21号)

鷹栖町議会

議会に関するお問い合わせはこちらへ

〒071-1292

北海道上川郡鷹栖町南1条3丁目5番1号

TEL 0166-87-2111

FAX 0166-87-2196

✉ gikai@town.takasu.hokkaido.jp

一般質問

一般質問とは、定例議会において、各議員が住民を代表して、行財政全般にわたり町当局の考え方や疑問をたずねることです。単に疑問を晴らし事実関係を明らかにするだけでなく、現行政策を見直し、新規政策を提言する議員の重要な活動です。

質問

企業誘致に総力を

答弁

27年度中に喜んでいただけるよう努力したい。(町長)

中村 公憲 議員

企業誘致は、大変難しい仕事だが、本町経済の発展と雇用創出のため、やり遂げなければならぬ非常に重要な業務である。

しかし、6年間、1件も成約に至っていない。未契約8区画の造成工費は3億200万円で、金利経費等も考えると、大きな負担となる。

早急に、取り組み方を抜本的に見直し、総力を上げて企業誘致に努めるべきでは。

答弁 対象業種を絞り込み、アンケート調査も2年にわたり実施したが、期待していたほど効果が出ませんでした。

現在、金融機関等を訪問し、情報提供の依頼



鷹栖町工業団地

に重点を置いた活動のほか、首都圏での企業立地セミナーや北海道・インターフェアなどへの参加活動も続けています。

産業振興課商工観光係の2名体制については、状況を踏まえ全体の人事異動を含めた中で検討します。

質問 6年間で3回も担当者が変わるのでは問題ではないか。

企業誘致は、信頼関係が高まらなければ、なかなか発展しない。公務員の人事のローテーションとは異なるが、一般行政と異なった業務であることを考慮しては。

答弁 十分わかりますので今後考えていきたい。

質問 民間活用を積極的に行うべきでは。

答弁 金融機関、大手ゼネコン、本町に縁のある方、さっぼる鷹栖会等々、十分に活かしていきたい。

質問 各種イベントに担当者を積極的に参加させ、営業を展開しては。

答弁 昨年は4回、企業フォーラムに参加。今年度も3回計画しています。

質問 道外企業誘致のため、道との連携は欠かせないが、綿密な連絡体制がとれているのか。

答弁 私だけでなく担



当者も、上京した際には道の東京事務所を訪問し、情報提供するようにしています。

質問 他町村と比べ圧倒的な優遇措置を制定するのにも一つの方法だが。

答弁 すでに他町村より優遇されたものになっていると思えます。今年度は合わせて6件が検討中または商談中です。

質問 あらゆる手段を尽くし、今年度中には成果を上げては。

答弁 皆さんに喜んでもらえるよう、最大限努力します。



ココを問う！

質問



パレットヒルズから見た鷹栖町

観光圏の策定で総合戦略の推進を

答弁

鷹栖の財産を活用した観光圏策定を(町長)

地方創生に向けた総合戦略策定において、広域観光や都市農村交流など、広く広域圏での市町村間の連携も想定されている。

観光圏整備の基本的な取り組みとして、関係者間の連携、地域住民の参加、観光地域づくりを実践する人材の育成、更に観光地域づくりマネージャーの選任が重要と考えるがどうか。

答弁 広域観光圏は、平成20年に施行された観光整備法に基づき、近隣市町村が連携し、2泊3日以上滞り交流型観光地づくりを目的に、平成28年度の認定を目指して

います。

今後、マネージャーの役割は計画の策定をはじめ、企画立案・調整をはじめ、観光プログラムを提案していく上で重要です。

マネージャーの選任は、観光圏の認定要件でもあり、町内在住者に限らず、適任者を選任する事を検討したいと考えています。

質問

観光圏整備の支援には、農山漁村活性化法の特例、社会資本整備についての配慮、農山漁村の活性化のための定住地域間交流の促進など、地域活性化に対応する基盤づくりのメニューがあるが、本町の取り組みは、

答弁 現時点で、農山漁村活性化プロジェクト支援交付金を活用しての観光分野の整備は想定していません。

都市と農山村との地域間交流、移住・定住対策に関しては、地方創生の重要なキーワードだと認識していますので、地方創生総合戦略での新型交付金の状況を踏まえ、他の交付金とも調整しながら、事業を進めていきたいと考えています。

質問

観光圏に限ることなく、本町の活性化には地域資源を有効的に活用することが重要です。農産業とのマッチング、歴史・文化施設、健康増

進やスポーツ施設の活用等、本町の様々な財産を活用するために、関係者による創生会議を立ち上げては。

答弁

鷹栖の財産については、ふるさと納税をはじめ、マスコミ・テレビ等の色々な広報媒体を積極的に活用し、町内にある地域資源を生かして、本町を最大限にPRしていきたいと考えています。

地方創生総合戦略策定会議のメンバーには、様々な分野の方がいますので、意見を頂きたいと考えています。

青野 敏 議員



質 問

都市計画税の見直す考えは

答弁

見直す考えはありません(町長)



下水道工事

27 年度会計予算書では、
* 都市計画税の収支内訳が見取りにくい。会計予算書の説明資料に都市計画税の充当調書を添付できないか。

答弁 今後、予算書や広報たかすなどにおいて、都市計画税の充当・使い道について明示します。

質問 都市計画税は、「税の公平性」に難点がある。鷹栖町標準地番号1の地価では、昭和49年7600円/m²から平成27年で12600円/m²となり、地価変動が見られた。
市街化区域の町民は、地価上昇による固定資産

税増、加えて、都市計画税増の課税となる。土地売買で利益を得る不動産業者とは異なり、「持家」志向の市街化区域住民は、地価上昇による増税という損益を受ける立場となる。

都市計画税の公平性と受益について考えを伺いたい。

答弁 固定資産税は財産税、都市計画税は目的税であり、二重課税にはなっています。都市計画税は、法律に基づいて利益を受ける市街化区域内の土地家屋の所有者に公平に課税していますので、平等であり、受益に問題ありません。

質問 下水道事業財源は、3分の2が一般財源、3分の1が都市計画税で充当している。目的税ではなく補てん税のようになっているのではないか。

答弁 都市計画事業の費用に充てる目的税と認識しています。不足分を一般財源で補てんしている公平な税金です。

質問 42年続く町条例を改廃できれば、鷹栖町への移住者に対し税の軽減をPRでき、移住者増の施策にもつながらる。
* 超過課税の施策により町条例を改廃した例もある。
市街化区域の拡大計画がないのであれば、都市計画税は見直す時期では

ないか。

答弁 都市計画事業から利益を受ける市街化区域内の土地家屋の所有者に課税する目的税です。超過課税ではかの税目の税率を上げるなど、違う形で町民に負担を求めることも見直す考えもありません。

※都市計画税 都市計画事業の費用に充てるため課税する目的税。法律で0.3%の制限税率とされています。鷹栖公共下水道の費用に充てられています。
※超過課税 地方税法で標準税率が定められている税目について、町が条例で定めて標準税率を超える税率で課税すること

質問

情報発信で町のイメージアップを

答弁

統一感のある情報を発信したい(町長)



27年度500万円をか
け、webページを
全面リニューアルする。
また、観光パンフレット
の更新も予定されている。
町が発信する情報媒体
は、従来、個々に作られ、
イメージが統一されてい
なかつたように思われる。
良い機会なので、鷹栖
町のセールスポイントを
整理した基本的なコンセ
プトを核に、統一感のあ
る情報を発信することで、
町のイメージアップを
図つては。

持ったコンセプトで情報
の発信をしていきたい。
質問 コンセプトをど
うするか、プロジェクト
チームのようなものを
作つて決める等の考えは。
答弁 町の魅力は十分
わかっているので、まず
はリニューアルをしたい。
その後、また新たな魅
力ができてくれば、リ
ニューアルという形もで
きる。スピード感を持つ
てやらなくてははいけな
いと考えます。

らうことはできませんが、
詳しい方々に見てもらい、
アイデアなどもいただ
きながら進めていきたく
と考えています。
質問 ※ SNSなどの
サービスを利用すること
も考えては。
現在、鷹栖町では動画
投稿など新しい試みも
行っているが、双方向で
情報のやり取りができる、
SNSを上手に使えば、
住民の声を集約したり、
行政運営に役立てること
ができるのではないか。

つこのツールとして、SNS
の活用を実施します。
活用方法については十
分検討して、今年度中に
は実施します。
質問 アクセス数、フォ
ロワー数など、どれだけの
反応があるかは明確な数
字で示される。これらの
数値目標もあらかじめ設
定すべきでは。
答弁 まずは内容を
充実させ、数値目標は
後の検討とさせていただきます。
※ SNS ツイッターやフェ
イブックなど社会的な繋がり
を作り出せるネットサー
ビスのこと。

片山 兵衛 議員



質 問

橋梁長寿命化修繕計画と安全確保は

大石 隆 議員

答弁 優先度の高い橋梁から進める(町長)

高齢者の認知症対策と学校教育での取り組みは

答弁 高齢者との交流活動を継続する(教育長)
地域サロンや地域包括支援センターの活用で(町長)



中央橋

質問 近年、大規模地

鷹 栖町には町道、農道、林道合わせて172の橋がある。平成35年までの町道(154橋)の修繕進捗状況と今後の計画は。

答弁 平成25年度以前に、美芳野橋の架け替え、近文橋、北野橋の修繕をしています。

平成26年度から平成35年度までに32橋の修繕が必要で、そのうち4橋の修繕が完了。27年度、中央橋の修繕で50m以上の橋梁は完了します。

社会資本整備総合交付金を活用しながら、優先度の高い橋梁から進めていきます。

震が多発しており橋梁被害が問題になっているが、耐震に対して考慮する必要があるのでは。

答弁 橋脚のない橋梁は、両端が橋台に支えられており、地震後も機能を維持できます。道路網は確保できるので、長寿命化を優先して進めています。

質問 重要度・必要度で廃止する橋を今後検討する考えは。

答弁 現在、使用している道路であり、廃止は考えていません。

認知 知症患者は、軽度認知障害者を加えると2025年には約130

0万人となり、65歳以上の3人に1人との推計が出ている。

認知症の人や家族などの負担軽減の認知症用サロンの設置は。

答弁町長 町では、お互い様づくり行動計画で、地域サロンの展開を図っています。社会交流や趣味活動などを通じて認知機能低下の予防も期待され、理解を深める場として活用を図ります。

質問 早期診断、早期対応(行政、医療介護専門職、専門医、かかりつけ医)の連携による初期集中支援チームの体制作りは。

答弁町長 早期診断、

早期対応には、27年度から軽度認知障害判別ツールを導入し、介護予防事業などにつなげる取り組みを地域包括支援センターで実施します。また認知症初期集中支援チームの研究を進めたいと考えます。

質問 学校教育等における認知症の人を含む高齢者への理解の推進と、認知症サポーターの養成講座の取り組みは。

答弁教育長 学校教育では認知症に特化した授業はありませんが、高齢者との交流活動などを継続し、高齢者や認知症の人への理解を一層深めるような教育を推進します。

7 / 2 経済福祉常任委員会町内所管事務調査

7 / 3 総務文教常任委員会町内所管事務調査



視察場所(行程順)

(株)すばる→さつき苑(写真参照)・はびねす→防災ポンプ運転
→チップ加工場→14線8号付近国営→稲華屋→田んぼの見える化
→H26洪水箇所→污水处理ポンプ場→田んぼアート



視察場所(工程順)

北斗「花かいどう」パークゴルフ場→埋立処分場(写真参照)→防災ポンプ運転
→旧北成小学校→玄きゆう庵→鷹栖小学校→鷹栖中学校→北野地区住民センター
→メロディーホール吊物改修及び今後の改修計画→鷹栖消防署

7 / 7 全道町村議会議員研修会

議会のうごき

2015.5.2 ~ 7.31

地方議会を取り巻く最近の動向

中央大学名誉教授 今村 都南雄 氏
地方創生に向けたこれからの町村議会の対応のガギは？今後の人口減少推移を考えれば「消滅可能都市」は1万人未満の97.5%との試算があるが、消滅してよい地域などなく「地域はそこに住む人が立ち上がり自らつくっていく」のだから「まち・ひと・しごと創生」の地方版総合戦略の策定、検証を実践して地域の声に耳を傾け地方創生の実践を進めるキーパーソンである。

これからの政局・政治動向

テレビ朝日コメンテーター 川村 晃司 氏
安倍晋三内閣において強引に成立させようとしている安全保障関連法案についての国会運営を地方議会も注視し、声をあげ、行動していく事も必要である。

5月

- 7日 第4回議会臨時会(初議会)
- 11日 正副議長就任あいさつ (上川総合振興局)
- 13日 上川中央部市・町議会定例議長会議 (当麻町)
- 20日 上川町村議会議長会臨時総会 (旭川市)
- 25日 議員協議会
(平成27年度国民健康保険特別会計についてほか)
- 26日 全国町村議会議長・副議長研修会(～28日 東京都)

6月

- 1日 経済福祉常任委員会 (第2回定例会について)
- 2日 総務文教常任委員会 (第2回定例会について)
- 4日 議会運営委員会(第2回定例会の案件や意見書について協議し、会期などを決定)
- 11日 第2回議会定例会(～12日)・広報広聴常任委員会
- 15日 上川地方開発期成会定期総会 (旭川市)
- 17日 北海道町村議会議長会定期総会 (札幌市)
- 20日 鷹栖ソーシャルワーカーとの懇話会(ぬくもりの家えん)
- 26日 広報広聴常任委員会
- 29日 上川町村議会議長会役員会 (～30日 美深町)
- 30日 鷹栖高校存続を求める会総会

7月

- 1日 まちづくり出前講座講演 (ななかまど大学院)
- 2日 経済福祉常任委員会町内所管事務調査
- 3日 総務文教常任委員会町内所管事務調査
- 7日 全道町村議会議員研修会 (札幌市)
- 8日 広報広聴常任委員会
- 16日 広報広聴常任委員会
- 21日 新任議員研修会 (札幌市)
- 23日 経済福祉・総務文教常任委員会
(第5回臨時会について)
- 27日 第5回議会臨時会
- 31日 新十津川町議会議員行政視察来町



◀今村 都南雄 氏



川村 晃司 氏 ▶

わたしの一言



内藤 正樹さん
(23区町内会)

生きてきて

私はこの町、鷹栖町で生まれ育ち、現在は農業を営んでいますが、幼い頃と景色は変わらず、自然の豊かな町だと思います。

私が中学生の時に、鷹栖町は福祉と農業の町と教わりましたが、この高齢化が進んできた今こそ行政、議会には期待し、安心して住める鷹栖町になってほしいと思います。

私も本年に母より経営移譲をし、

農業を生業としていますが、この先のTPP参加等には不透明感が多く、不安も感じていますが、消費者の方々の「おいしい」の声を糧として、従事していきたいと思います。

町や行政、議会にはこの豊かな景色やのどかな町を維持し、住みよい町、鷹栖として発展、継承してほしいと願います。

あとがき

盛夏の暖かい日差しとともに、農作物の成長で大事な季節を迎えております。

さて、例年にない少雪で農作物の出来が心配な年との事ですが、実り多い年でありますように。

4月の統一地方選挙が終了し、改選後の初めての議会だより「孔雀草」の発行となります。新たに選任された6名の委員は、開かれた議会を目指し多くの町民の皆様と親しまれる「孔雀草」となるように心がけてまいります。

モニターになられた方のご意見を参考にしたり、「くじゃくそうクイズ」など、興味を持っていたできるように努めてまいります。

今後もご愛読いただき、ご意見をお寄せくださいますようお願いいたします。

最後に、「わたしの一言」にご寄稿くださいました 内藤正樹さん ありがとうございます。

議会広報広聴常任委員会
委員長 大石 隆

くじゃくそうクイズ

次の問題に答えよう

○に当てはまる言葉を入れてください。

- 問1.** 町道にかかる橋の数は〇〇〇橋。
- 問2.** 新たに設置された常任委員会は、議会〇〇〇〇常任委員会。
- 問3.** 今年500万円をかけてリニューアルするのは、〇〇〇ページ。



ヒント

この議会だより「孔雀草」の中に答えがありますので、よく読んでみてください。

《応募方法》

クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、郵送、FAX、Eメールでご応募ください。孔雀草を読んだ感想や、議会へのご意見等もお書き添えいただければ幸いです。全問正解者の中から抽選で3名の方に商品券1,000円分をお送りします。(当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。)前回は9名の方にご応募いただきました。ありがとうございました。

《あて先》

〒071-1292
鷹栖町南1条3丁目 議会事務局 宛
FAX 0166-87-2196
✉ gikai@town.takasu.hokkaido.jp

《しめきり》

平成27年8月31日 消印有効

【個人情報の取り扱いについて】

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送とそれにかかる業務のみに利用します。